

情 報 公 開 文 書

研究の名称	放射線治療が自家組織による1次1期再建後の乳房に与える影響の解明
整理番号	
研究機関の名称	横浜市立大学附属市民総合医療センター
研究責任者 (所属・氏名)	横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科 小久保健一
研究の概要	<p>【研究対象者】</p> <p>2005年1月～2024年12月に横浜市立大学附属市民総合医療センター形成外科、富山大学附属病院形成再建外科・美容外科において遊離組織移植による乳房再建手術を施行した患者さんを対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】</p> <p>乳癌術後患者に対する遊離自家組織移植後の放射線照射による乳房再建手術の安全性について調査します。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>すでに診療において取得されている情報を用い、放射線治療歴のある患者さん、治療歴のない患者さんそれぞれについて、患者さんの背景（既往歴、喫煙歴等）、乳房再建手術の方法、合併症、整容的結果等を比較します。</p> <p>【研究期間】</p> <p>実施許可日（2025年12月5日） ～ 2028年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】</p> <p>論文、学会発表において公表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	診療において取得された情報（診療録、手術記録、画像所見、臨床写真等）を用います。研究対象者の個人情報保護に十分配慮し、研究代表機関である富山大学附属病院へ情報提供されます。本研究の目的以外には利用せず、結果を公表する際は、個人の特定ができる情報は含めません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕 横浜市立大学附属市民総合医療センター 病院長 田村 功一
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科 教授 佐武利彦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>〔当院〕</p> <p>電話 045-261-5656（代表）</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科 小久保健一</p> <p>〔主機関〕</p> <p>電話 076-434-7460</p> <p>FAX 076-434-7460</p> <p>E-mail prs@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者 富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科 講師 小野田 聡</p>